

第4章 目指すあやめ公園の姿

(1) 上位計画におけるあやめ公園の位置づけ

あやめ公園は、市の計画において次のように位置づけています。

【上位計画】

長井市第五次総合計画 (平成26年度 ～令和5年度)	<将来像> みんなで創る しあわせに暮らせるまち 長井 ～人にぎわい 心かよう 水のふるさと～ <目指す姿> 交流人口を増加させ、地域経済に貢献する観光 <関連する主要事業> 観光資源の環境整備、あやめブランド化推進、花を活かしたまちづくり
長井市観光振興計画 (平成25年度 ～令和4年度)	<基本方針> 市民が自慢できる観光まちづくり ～水・緑・花によるさらなる観光の推進～ ～観光と産業の融合による経済の活性化～ ～観光まちづくりプラットフォームの構築～ <コンセプト> 既存施設のブラッシュアップ、来訪者の目的地となるブランディング <関連する事業内容> 長井古種を活かしながら「美しく魅せる公園」へ、希少性・特殊性のブランドイメージを強める
中心市街地活性化基本計画 (平成28年度 ～令和2年度) 第2期(令和3年度 ～令和7年度予定)	<役割> 「人・モノ・情報をト・メ・る」 <基本方針> 市民と観光客が集い、魅力あるまちづくり、商業活動活性化等によるにぎわいあるまちづくり、快適で安全に暮らせるまちづくり <関連する事業内容> あやめを中心としたイベント等の実施 第2期計画 <テーマ> 「時代・エリア・人をつなぐ」 <基本方針> ①快適・安全で市民や観光客が集まる魅力あるまちづくり ②人が集い、回遊したくなる魅力を生む仕組みづくり ③まちづくりを支える人材の育成及び商業活動の活性化による賑わいづくり

(2) 観光資源としての戦略

長井市観光振興計画では、あやめ公園の必要事業として長井古種の希少性・特殊性を活かしたブランドイメージを強めることとしています。長井市は、主要国道や新幹線ルート沿いではない立地にあり、あやめ公園には、目的地としての知名度と内容が必要とされます。また、公園の整備とともに、観光地域づ

くりを推進する必要がある、「あやめ」と「まちの魅力」の連携と市民・産業・文化が来訪者と交流・融合することで地域活性化へ繋ぐ必要があります。このため、以下の項目を重点的に進めることで、公園整備の目指す姿、市民との関わりを整理し、あやめ公園の将来像を観光戦略として位置づけていきます。

～あやめ（長井古種）のブランドイメージの強化～

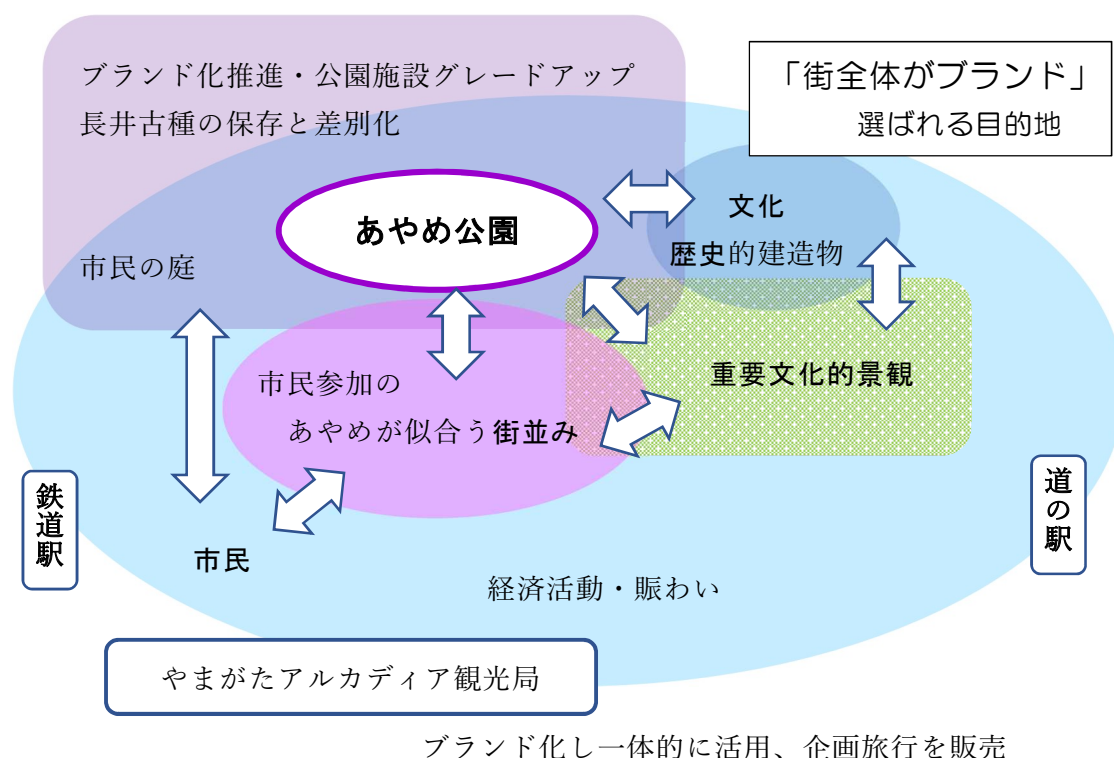
初夏の主要観光資源として、あやめのふる里の知名度向上と公園施設内容の充実を図ります。令和3年度で111周年を迎えることから、歴史を感じる雰囲気と長井古種の特殊性を活かすことで、長井市民の誇りを表現していきます。また、個人旅行が増える中、コアなニーズ（花菖蒲・植物学）も満たせる専門性と多様な来訪者が満足する居心地の良さも兼ね備え、訪れる目的地となるスペックが求められます。

～まちなか歴史・文化との融合～

あやめ公園に隣接する寺社、最上川舟運文化が薫る宮・十日町エリアを双方向で活用し、花観光とまちなか観光をつなぐ取り組みを行っていきます。その際、重要文化的景観「最上川上流域における長井の町場景観」の活用を進めるとともに、あやめ鉢が似合う街並みづくり活動も合わせることで、回遊する観光を進め、やまがたアルカディア観光局による、地域資源との連携したツアーの拠点となるよう機能を持たせます。

～市民憩いの公園～

花観光のオフシーズンは、市民が様々な活動を行える市民の公園としての役割を担います。多目的に使用できるスペースと施設を備えることで、通年で人が集まる公園を目指します。



（３）再整備のコンセプト

上位計画、あやめ公園の課題、市民ニーズや観光戦略を踏まえ、あやめ公園再整備のコンセプトを次のように設定します。

魅せる！水きらめく「あやめのふる里」

水とあやめが調和し和の趣きある公園、長井古種を大切に育て、後世まで「あやめのふる里」を守り伝えていきたいという趣旨です。美しいあやめを鑑賞し、あやめに関する学びの場としても楽しめる公園に再整備してまいります。

（４）再整備基本方針

あやめの植栽や既存施設・設備の改良や改修を進めていく上での基本方針と考慮すべきポイントを次のように整理します。

- 基本方針１： あやめで感動を生む
 - ①あやめで感動を与える（見せ方・植え方の工夫）
 - ②育成品種の検討・古種の保存
 - ③あやめ以外の花も配置
- 基本方針２：「あやめのふる里」を学べる公園づくり
 - ①あやめの知識・長井古種の価値を学べる場の提供
 - ②「あやめのふる里」の定着を図る・他のあやめ公園との差別化を図る
 - ③学術的な植生ゾーンの創出
- 基本方針３：あやめと水と緑の調和
 - ①水を感じられる公園づくり（親水スペースや水の流れの確保）
 - ②樹木の適切な管理により暗さの解消を図る
 - ③松と芝を効果的に配置し和風庭園のイメージを活かす
- 基本方針４：参加型の通年公園づくり
 - ①あやめ会館の建て替え（通年利用型）
 - ②高所からの展望の確保
 - ③動線とメインゲート、ゾーニングの再構築
 - ④園路とトイレのバリアフリー化
 - ⑤子供が楽しめるスペース・設備の整備
 - ⑥休み処・ベンチの改良・増設
 - ⑦園内を楽しめる表示・サインの見直し
 - ⑧維持管理への市民参加・協力体制の構築
- 基本方針５：おもてなしの公園づくり
 - ①飲食スペースとみやげ処の充実
 - ②写真の撮りやすい設計、ビューポイントの配置
 - ③PRの強化、発信力の強化
 - ④あやめまつりやイベントの工夫・見直し